

# ありば

「バリア」の逆は「ありば」。  
バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。  
みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。  
人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

VOL. **46**  
2023



表紙 / 大塚 弘也 (おおつか ひろや) さんの作品

全国障害者技能競技大会 (アビリンピック) 写真撮影の部で、3年連続銀賞を受賞した大塚弘也さん(19歳)。日本代表として今年3月にフランス・メッスで開催された第10回国際アビリンピックに出場しました。本作品は、大会後に楽しみにしていたセーヌ川ディナークルーズで撮影したものです。何かにチャレンジしたいと思っていたとき、通っていた学校でアビリンピックを知り、参加を決意したそうです。大塚さんは、「一眼レフカメラは、国際大会に内定してから挑戦しました。大会に出場して『世界は広い』と感じました。」と話してくれました。普段は、自分の心が動いたときや「あの人に見せたい」という気持ちのときに撮影するそうです。今後は、「自動車運転免許を取得してみたい」と語ってくれました。



## CONTENTS

**[特集]**  
鹿児島県医療的ケア児等支援センター

PAGE **1**

ハードルを越えて  
ピースくん & 美涼ちゃん

PAGE **5**

バリアフリー最前線

鹿児島空港 (ほじょ犬トイレ)

「身体障害者補助犬」への理解を深めましょう。PAGE **6**

ありばヒューマンドキュメント  
中畑 芳恵さん

PAGE **3**

鹿児島県からのお知らせ

- ・令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されます!
- ・農福連携をご存知ですか?
- ・アートを通じて色々な人とつながろう

ありば通心

地域おこし研究員 田中力×大崎町

PAGE **4**

PAGE **7**

